

議題 2

平成 29 年度の重点事項について

(2) 加賀市シニア活動応援事業に
ついて(案)



加賀市健康福祉部長寿課

平成 29 年 2 月 23 日

〔地域のイメージ図〕

『ともに支えあう健康で豊かなまちづくり』

加賀市の目指す姿

『ともに支えあう健康で豊かなまちづくり』

たとえ病気になっても、介護が必要になっても、認知症になっても住みわたるまで暮らし続けるためには「予防」「医療」「介護」「生活支援」「住まい」の５つの要素が地域の特色と合わせて提供できる仕組みが大切になります。

地域で支える「加賀市地域包括ケアシステム」を一緒につくっていきましょう。

生活支援

- 今日の様子はどうやいつものあるよ
- 移動販売
- 地域福祉コーディネーター
- ちよとした若い世代の参加も平均でもらえるよありがとう
- 誰かのいるいの職は呼び出しセンターに頼めるよ
- いつでも来所に助かるよ
- ゴミ出しが楽ーみんなの協力
- ついでに一回待っていてあげるよ
- 冬の雪かきは本部に大変だね!
- ついでにやってあげるよ
- まわりの先生の色んな話聞けて楽しいな
- サロン
- みんなとおしゃべりできー楽しいです
- 〇〇さんも誘ってみようよ

医療

- 先生が来てくれて安心です
- 具合はどうですか?
- 最前線に家にあります
- 今日は〇〇さんが自宅で診察するよみんなで話し合いましょう
- 口説き回すするようになってからよく食べられるようになったよ
- 〇〇さんのばあちゃんこの病気で悩んでなかったけど、この方に来てくれたんだよ
- 心強いねわいわい登録する
- 小規模多機能ホーム
- またホームで受けたいわ
- こんばんは!どう?
- みんなを金づけて帰るんだよ
- みんな文交で相談してるよ

介護

- 最近〇〇さんみかんを食べてみたよ民生委員さんに相談してみよう
- 介護や看護などのさまざまな相談について、いつでも気軽に相談してください!
- 24時間相談対応
- 市役所
- 集合タワシー
- お家じゃないですかお弁当もってきましょう
- いつもありがとうございます
- Aばあちゃんが最近目が悪くてサングラスをかけるようになったよ
- サロンに行きかけた方法があるかな?
- そういえば、あるかな?そんなことを言っていたわ
- じゃあ、文交で相談してもいいかな
- 地域ケア会議
- 介護サービスは無料
- 介護なんでも110番

住まい

- わしの隣の家が空室だが、誰か住みたい人いたらかなそのほうが、わたしも安心なんだよね
- それじゃ、建築費に相談してみようか
- じいちゃん足腰弱ってきて家の修繕に手すりをつけよう
- この前輸入学校の「かもさる講座」で聞いたけど、介護の相談は〇〇地区プランニングセンター(後援)に相談すればいいんだよ
- 車いすのない人は大変便利よね
- 集合タワシー通院にはいいんねわか

予防

- 認知症について
- かがかき登
- 健康サークル
- 有酸素運動

【地域包括ケアビジョンの方向性】

「本人主体」

私らしくあり続けることを大切に、共に考え、認め合うことができるまち

「住民主体」

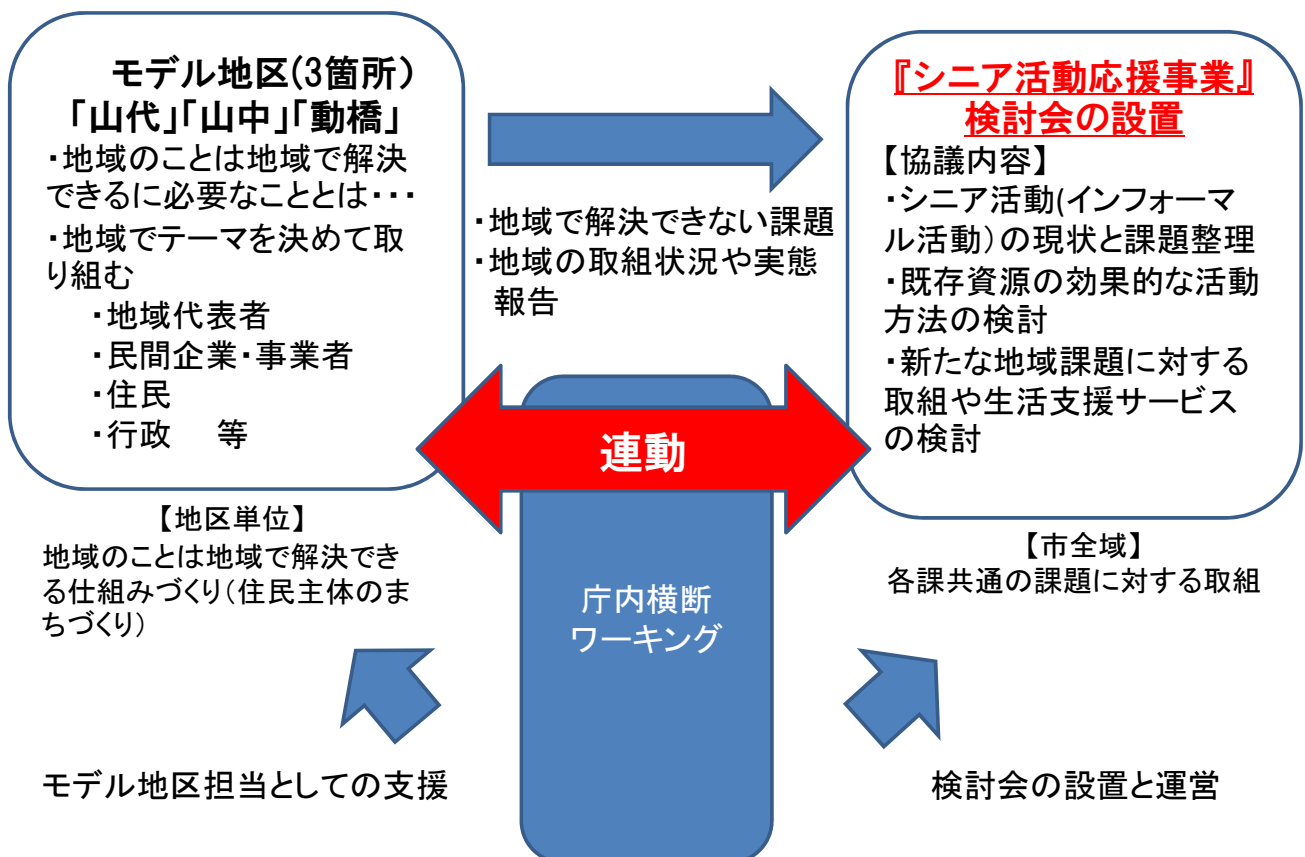
「自分たちのまちは自分たちで」をモットーに、自らの決定に責任をもち、住民、行政、事業者が協働し、支え合える地域づくり

「圏域単位で予防・医療・介護・生活支援・住まいの5つの要素が一体的に提供されるもの」

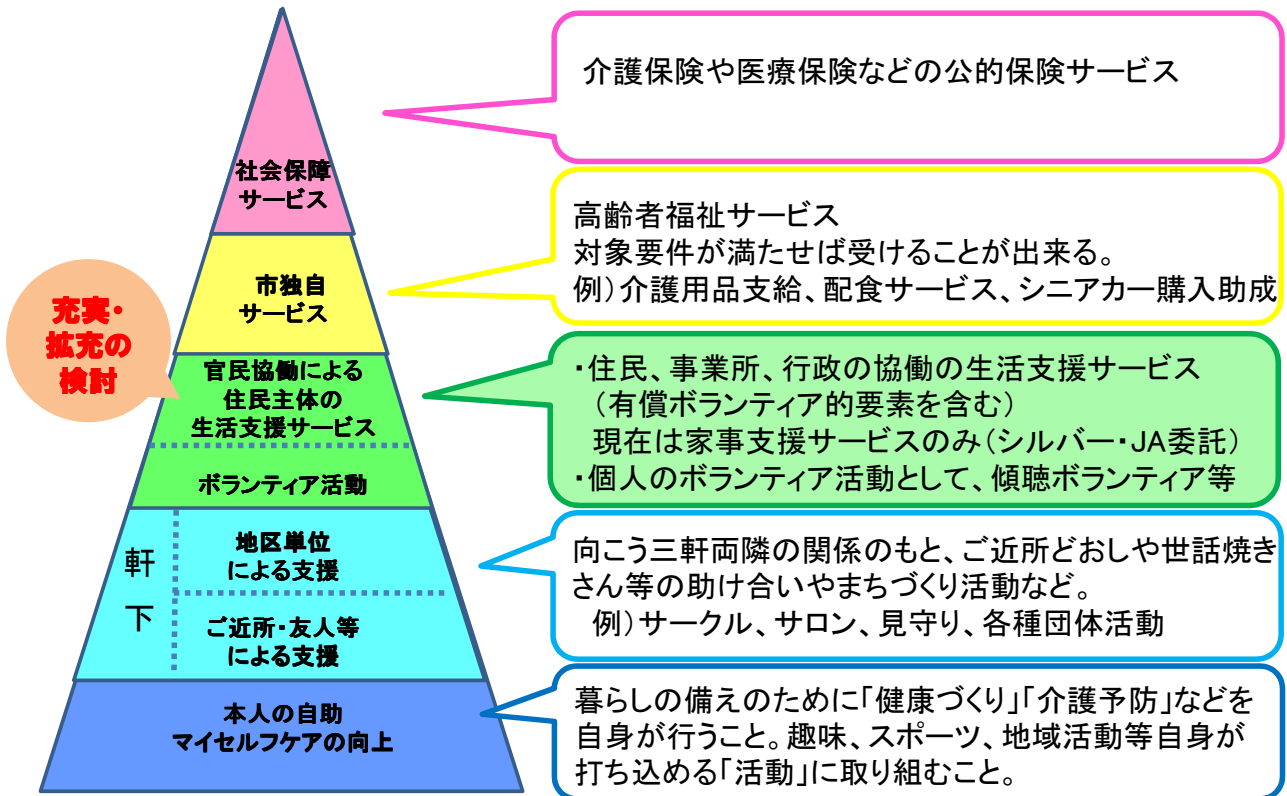
これまでのつながりや関係を大切に、本人や地域の力を活かし、暮らしを継続するために、「本人主体」と「住民主体」を基本的考えとし、地域ごとのグランドデザインを描くこと

“地域で暮らす”を念頭に、地域特性を踏まえ、住民一人ひとり・事業者・行政の協働により、自分たちの暮らしや地域を守っていく・支えあっていくことが必要！

地域の福祉力を向上させていく取組について



官民協働による住民主体の生活支援サービスのあり方 (高齢者のケース)



5

シニア活動応援事業について

<概要>

地域住民の互助活動による暮らしを支える新たな取り組みを推進するため、NPO等による元気な高齢者の活躍の場を整備するとともに、地域で必要とされる生活上の支援と人材をマッチングする体制を構築する。

『シニア活動応援検討会の設置』

【構成員】

ボランティア、NPO法人、社会福祉法人、福祉活動団体等の多様な事業主体で生活支援等活動を行っている者で構成する。

○福祉に従事した職員でかつ地域づくりに関与している者

介護サービス事業者協議会代表、相談支援事業所(障がい分野)相談員、保育園(子育て分野)、ランチ事業所(高齢分野)相談員、社会福祉協議会

○地域福祉活動に携わる関係組織・中間支援組織

子育て支援コーディネーター、老人クラブ連合会代表、公民館連合会代表、民生委員・児童委員協議会代表、高齢者の担い手(かがやき予防塾修了生、家事支援サポーター等)

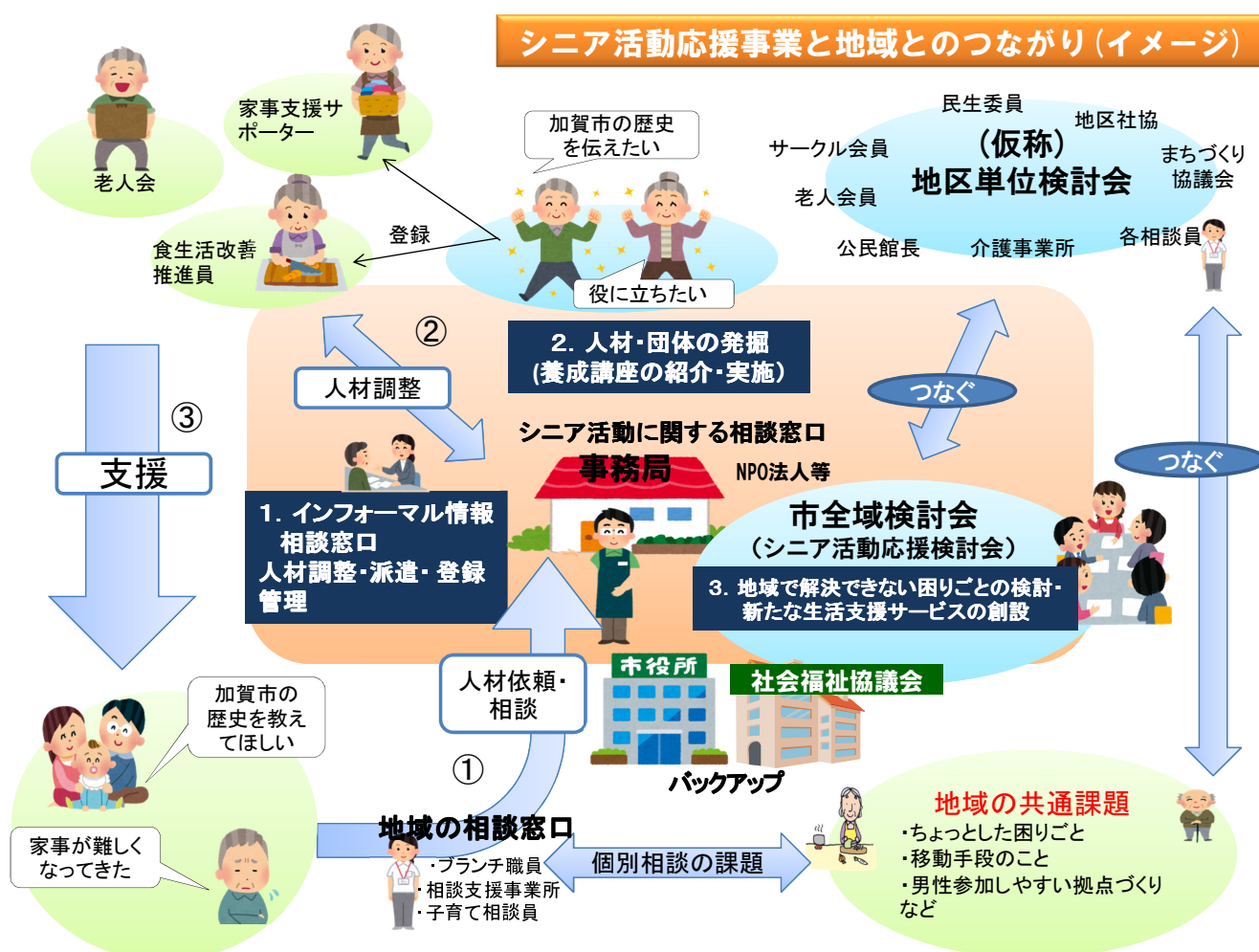
○行政職員

副市長、健康福祉部長、南加賀保健福祉センター代表

市庁内ワーキング職員(健康福祉部・市民生活部・総務部・教育委員会)

【実施主体】 加賀市

【回数】 検討会 9月～2月 計4回開催 視察1回



【事業の内容】

- 1) インフォーマル情報相談窓口・人材調整・派遣・登録・管理
- 2) 人材・団体の発掘(養成講座の紹介・実施)
- 3) シニア活動応援事業検討会の定期開催

内 容: ①活動及び事業運営について

②身近な困りごとに対してインフォーマル活動のネットワークにより解決できることの提案や取組報告

※検討会委員の身近な困りごとや課題を出し合い、自分たち個人や団体の活動としてできることなど解決策やアイデアを出し合う。これらを実践することにより、全体として相乗効果を生み出すような流れを作りだしていく。

○運営方法: 委託

平成29年夏以降の設置を目指す。

【方向性】

- ・高齢者の活躍の場・仕組みづくり
- ・他団体や他事業との連携により地域の支えあい活動の充実

【設置のメリット】

- ・高齢者のできること、求めている人のマッチングにより高齢者の社会参加の推進(生きがい・役割づくり)
- ・インフォーマル情報の見える化